



## 援農状況 *Let's Activate Area AGRI*

10月の援農は1403時間(無償研修は無し)、援農参加者は47人、受け入れ農家は13軒でした。今年度累計は15312.5時間で、今年度目標15000時間を既に達成しました。作業内容は、収穫と出荷調整(かぶ、さつまいも、八頭、かぼちゃ、里芋、人参、小松菜、ねぎ、じゃがいも、ナス、ピーマン、バジル、しょうが、唐辛子、大根、トマト、キウイ、花各種)、肥料やり、片づけ(きゅうり、ナス、ハウス、ブルーベリーネット)、間引き(人参、白菜)、稲刈り、苗植え(キャベツ、白菜、レタス、花、にんにく、イチゴ)、播種(大根、トマト、春菊、ほうれん草、カブ)、草取り、野菜販売、卵選別、花卉栽培の作業、などです。今年は、なりものはすべてよかったとのこと。果物も芋類も良い出来でした。

## イベント情報

- ・すずしろ22旬菜会の『こんにゃく作り料理教室』 12/6(金)11時~14時  
川口市民センター調理室にて。参加費1000円(こんにゃくのお土産つき)  
参加申し込みは定員に達しました。
- ・2014年度総会と講演会 2014年2月15日(土)  
10時~12時:総会、13時~16時:講演会(講師は交渉中)

## 新しく入会された方々

上條昌彦さん(東浅川町)、山口史子さん(鏡水)



## 援農体験記

### すずしろ22 援農体験あれからそして今 榎原町 佐久間寛子

すずしろ22が活動を始めたばかりの頃、小比企町で人参の収穫作業を5人程でしました。12月下旬か1月頃、竹林の陰になっている畑は霜で凍っていました。出荷規格外の人参も捨てがたく、皆収穫してしまったので、作業効率にはかばかしくありません。畑にはまだ人参があり、確か翌日もメンバーが援農に入ったと思います。その夏には恩方の中村さんのブルーベリー摘み作業に参加しました。ブルーベリーの特徴や収穫手順を丁寧に教えてください、ひと粒一粒つぶさないようパックに入れていきます。その時初めて、里山すそ野に広がる陽が良くあたる肥えた土と無農薬で育った美味しさを知りました。手で収穫したひと粒一粒が潰れずに甘酸っぱいソースに加工され、市内「道の駅」や農産物直売所で販売されています。

現在、私は片倉町でNPO法人こすもすの「Cafeこすもす」でパン・焼き菓子の製造販売と軽食喫茶を運営しています。こちらでも一緒に販売をしています。つくづく、野菜や果物をおいしく味わえることのありがたさを少ない援農体験から学びました。農家会員・援農会員も増え、次世代へとつなぐ役目を続けていきたいと思っています。

## 理事会・分科会だより

### 第11回理事会開催 11/13(水)18:10~20:40

(台町市民センターにて 理事8名 監事2名出席)

- ・報告(援農、すずしろまつり、JA農業祭)
- ・富所農園 研修農場の運営について
- ・手当(交通費)支給規定追加項目
- ・新規会計事務担当者の手当支給について
- ・来年度予算案提出について
- ・その他

### IT&広報分科会開催 11/5(火)13時~16時

(台町市民センターにて。理事2名・会員2名出席)



## 《IT&広報分科会からのお願い》

- ・ホームページにイベントなどの写真を載せています。顔を載せてほしくない方は、事務局にご一報ください。
- ・イベントや援農での写真をホームページ用にご提供いただくとありがたいです。連絡は、[enno.member1@gmail.com](mailto:enno.member1@gmail.com) (長嶋)まで

## ちょっと耳にした情報・アドバイス

### 切干大根の作り方

(切干大根がおいしいと評判の農家のお母さんからお聞きしました。『出荷できない大根を捨てるのがもったいないから、切干大根を作ってきただけなのよ。コツと言われても、ただ大根を切って干すだけなのに、、、』と苦笑しながら、教えていただきました。)

大根の皮はむかずに、包丁で長さ5センチメートルの短冊に切ります。干切り器を使う人もいますが、表面がざらつくので、私は包丁を使います。包丁だとぬめっこくておいしいし、曲がりや虫食いの大根も、大きさを調整できます。押さえつけて、絞り出すタイプの Cutter もありますが、やっぱり包丁の方がおいしい。5センチにするのは、食べたとき食べやすいからです。

大根は、掘ったばかりでなくても平気。多少しなりしていても平気です。大根の頭からしっぽまで使います。寒のころの大根しか切干大根にしません。寒いと真っ白に仕上がります。暖かいころに作ると、どうしても色がつくし、忙しくて作ってる暇がありません。

干すのは外です。家の中はだめです。私は、庭に網戸を広げ、その上に並べて干します。そうすると、上からも下からも風が当たります。中には、もう少し大きく切って、洗濯物を干すみたいに洗濯ばさみで干してる人もいます。

# イベント報告

## ① 寄せ植え講習会

10月29日(火)石川農園(高月町)で『クリスマス用の寄せ植え』講習会を行いました。講師は石川耕平さん。参加者は6人でした。シクラメンやアリッサムは根を崩さないように植えること、パンジーは一度花を全部摘むこと、針葉樹は、はさみを使わずに手で切って形を整えることなど、わかりやすく教えていただきました。『気さくな先生で、素人の質問にも丁寧に対応してくれた』『家が近ければ援農で応援したかった』『パンジーは先生の言った通り1週間後にまた満開となりました。スゴイです』などの感想が寄せられました。

## ② すずしろまつり

11月2日(土)に、子どもキャンプ場で行いました。参加者は、25人。そのうち5人は、会員外の方で、お子さんも3人参加してくれました。参加者全員で、例年通り、焼き芋、芋煮、焼きそばを作って食べました。村内意史さんのさつまいもで作った焼き芋は甘くてとてもおいしかったです。井上明さんが作ってくださったパネルは、イベントの度に大活躍です。天気もよく、広々した会場で、男子はおじいちゃんとサッカーのパスをしたり、のんびりした一日を過ごしました。野菜を買いたかったという意見が複数ありました。



## ③ JA 農業祭

11月9日(土)、10日(日)両日、富士森公園で行われたJA 農業祭に、すずしろ22も出店しました。すずしろ22の宣伝と、『ロリエと唐辛子のブーケ』、ゆずこしょう、青唐辛子、ゆずの販売をしました。当番をしてくださった地産地消分科会の針生福愛さんは『八王子に引っ越して2年目を迎え、初めてJA 農業祭に参加しました。私の予想以上の人出で、すずしろの活動や手作りゆずこしょうの作り方に興味を寄せてくれる方も多く、八王子に住む人々と土や農産物との距離の近さを感じた一日でした』とのこと。

